

第2回第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会 令和6年度第3回大野市総合計画・総合戦略推進会議 議事概要

日時：12月18日（水）午後7時～9時5分

場所：大会議室

◆出席者 総合計画・総合戦略推進会議委員 19名（欠席者2名）
後期基本計画策定幹事会委員 47名（代理1名、欠席者6名）
吉田行政経営部長、小林政策推進課長、
政策推進課員（前田、千京、廣瀬、眞柄、雨山）

◆次 第

1 開会（岡崎会長・幹事長）

本日の会議は、第一部の合同会議では、今年度の主要施策の取組状況、大野市の人口推計、後期基本計画の策定に向けて行った市民と中高生向けの意識調査の結果について、事務局より報告いただく。

第二部は、幹事会として開き、審議会に報告する後期基本計画の体系について事務局より提案があり、協議を賜りたい。その後、各グループにおいて、座談会形式により市が取りまとめた現状と課題の素案に対し、意見をいただき、ブラッシュアップをしていきたい。

会議の内容が多岐にわたるため、円滑な議事進行に協力いただくとともに、忌憚ない意見を賜りたい。

【第一部】合同会議

1 議事

（1）令和6年度主要施策の進捗報告について

概 要： 資料1に基づき事務局説明

質 疑： 意見無し

（2）人口の推移について

概 要： 資料2に基づき事務局説明

質 疑：

委員 5頁目の転入・転出数に関して、令和2、3年の動きが大きい要因は。

事務局 コロナ禍による人の動きで、特に外国人の方が占める部分が多いもの
と考える。

委員 表紙のグラフについて、色分けしている色の分類を教えてください。

事務局 資料中に凡例が無く申し訳ない。下から黄色が0～14歳の年少人口、その
上の緑色が15～64歳の生産年齢人口、その上の水色が65～74歳の人口、
一番上の紫色が75歳以上の人口である。

(3) 市民意識調査の結果報告について

概 要： 資料3に基づき事務局説明。ウェルビーイング調査結果のデジタル庁HP
への反映・公開は、現在、国において作業中であり年内の公開を想定。

質 疑： 意見無し

デジタル庁HP（『デジタル庁 ウェルビーイング』で検索）には、令和7年1月に反
映・公開済であることを確認しています。ダッシュボードから、「福井県」「大野市」
「個別調査」「2024年度版」（以下、**赤枠**）を選択すると、市が実施した市民意識調査
の結果が反映されていることを確認することができます。

（参考：デジタル庁HP <https://well-being.digital.go.jp/dashboard/>）

地域幸福度

Well-Being 指標

RAIDA ☐ RESAS ☐

ダッシュボード 指標について知る 使いこなす 個別調査をする [ログイン](#)

[ホーム](#) > [ダッシュボード](#)

ダッシュボード

表示中のデータ選択条件

都道府県を選択

市区町村を選択

調査種別を選択

年度を選択

選択中の地域のアンケート回答者情報

☒ 地図を表示・地点を絞り込む ☒ 年代を絞り込む ☒ 性別を絞り込む

回答者数

318

× 地点・年代・性別の絞り込み条件を解除する

年代

80代以上	0
60代	74
40代	44
20代	17

性別

男性	136人	42.8%
女性	167人	52.5%
その他・未回答	15人	4.7%

地点、年代、性別を絞り込むと、それぞれ回答者数・年代・性別のチャート、また下部に表示中のWell-Being指標のチャートに反映されます。
※ 比較表示時は画面に表示されているグラフの回答者数が合算値で表示されます。

[ダッシュボード切り替え](#)

ダッシュボードメニュー

[+ 比較自治体を追加](#)

[+ 比較年度を追加](#)

[比較のポイント \(+\)](#)

[♡ お気に入りを表示](#)

[♡ 表示中の地域をお気に入りに登録](#)

1 議事

(1) 後期基本計画の体系等について

概 要： 資料4に基づき事務局説明

質 疑：

委員 シェアリングエコノミーの説明の中で、副業の推進についてあえて例示されているが、この意図は。

事務局 今後、生産年齢人口も減り、担い手の不足が様々なところで想定される。そういった中、国においても人材不足を補う意味でも副業を推進する動きが進んでおり、本市においても、今後このような動きは想定され得ると考えており、記載している。

委員 本来の生業で収入が足りないから、サイドビジネスを進めるという受け止め方をするのではないかと思い質問させていただいた。記載の意図は理解した。

岡崎幹事長 手の空いている方、様々な能力のある方が、そういった形（副業）で手助けをするといったイメージで理解していた。そのような意味合いで理解いただければと思う。

岡崎幹事長 今回新しく計画の横串（施策展開の視点）として、ウェルビーイング、シェアリングエコノミー、ジェンダーギャップの緩和といったものを用いたという説明であったが、狙い、本音の部分でどのように考えられたのか教えてほしい。

事務局 ウェルビーイングについては、指標の結果を市民の幸福度、満足度を測る物差しとして組み入れたいと考える。今回市民意識調査で、ウェルビーイング指標の調査を行い、現在どういう状態なのかということを調べた。

事務局 付け加えると、ウェルビーイングについては記載の通りだが、ハードとソフトという表現の方がわかりやすいように思う。これまで、ハード整備が進み、心が満たされる、要求が満たされる、そういう世の中だった。しかしながら、これから人口も減っていき、例えば、大野市では税収が減るようなことが予想される。そういった中においても、ここに住み、心の豊かさ、住んでよかったと感じられる。そんなソフト面を物差しとして測っていき、この地域に住んでよかった感じられるよう図っていきたいことから、ウェルビーイングを横串として入れさせていただきたい。

岡崎幹事長 この体系案を審議会に報告してよろしいか。

結 果： 挙手多数。この体系案を審議会に報告。

(2) 後期基本計画の現状と課題の整理について

概 要： 資料5及びスライド資料に基づき事務局説明

専門部会毎の3つのグループに分かれて意見交換を実施（約60分）

質 疑： 全体への共有事項、意見 ⇒ 意見なし

欠席された委員の意見、追加の意見は、別途徴集。

結 果： 本日の意見、今後寄せられる意見を踏まえ、事務局においてブラッシュアップを行い審議会に報告。

閉会（竹田副幹事長）

皆さんでいろんな意見を共有しながら、前向きな議論ができたように思う。1つのグループにしか参加できていないものの、視点がいっぱいあることを感じた。これらを計画に上手く反映して、大野市のためになる良い計画になってほしい。

資料の中（前期基本計画）に、大野市は地震が少ないという記述があるが、そんなことは無い。日本のどこでも地震が起こるということを頭の中に入れていただいて、1月1日から1周年を迎えるということで、災害に対する備えを忘れずに、よいお年を迎えていただきたい。

◆会議資料

次第

大野市総合計画・総合戦略推進会議委員名簿

第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会委員名簿

第六次大野市総合計画後期基本計画・第3期大野市総合戦略策定WG委員名簿

資料1：令和6年度上半期（4～9月）主要事業の取組状況及び成果

資料2：人口の推移（参考資料）

資料3：大野市総合計画市民意識調査結果報告書（案）

資料4：後期基本計画の体系案

資料5：後期基本計画に関する大野市の現状と課題（素案）